



温度センサーとして機能するセンサーコード ～産地の美味しさを食卓で～

プリンタブルセンサーコード技術研究組合 CSO 寺田 知彦

提案の背景

牧場で飲んだ牛乳、酒蔵で飲んだ生酒を自宅で楽しみたい！しかし、電池付きのセンサーでは、価格が高くなり全く手が出ない高級品になってしまいます。

我々は、感温インクでカラーコードを印刷し、パッケージをスマートパッケージしました。そして、温度トレーサビリティのコストを抑え、産地の美味しさを食卓に届けます。

センサーコードは、医薬品物流も変えていきます。欧米ではすでに医薬品の温度トレーサビリティが一般的になりました。日本では偽薬流通事件が起きて、規制導入に動きました。センサーコードは熱で影響を受ける全ての製品(食品・医薬品等)の流通を変えます。

トライアル概要

茨城県下の食品メーカーで温度管理が必要な製品にセンサーコードを貼付、つくば市内で購入し、物流課程の温度管理を評価する。

協力いただけるパートナー募集

1. 茨城県下の酒蔵等のメーカー
2. つくば市内のスーパー等の小売店
3. つくば市内在住の20～40代男女

つくば市実証実験の時期

2018年12月～2019年1月(予定)



Step 1: 準備

食品メーカーでパッケージへセンサーコードを貼る

Step 2: 出荷・購入

食品メーカーから商品出荷、小売店で商品購入

Step 3: 評価

センサーコードをスキャンあわせて製品評価(試食)

<評価手法案> iPhoneにインストールしたアプリでセンサーコードを読み込み管理状態を把握し、適切管理をされた食品と、ダメージを受けた食品の試食等を行う。

期待される効果・実現する未来社会

簡便安価な温度トレーサビリティの実現

センサーコードが印刷されたスマートパッケージで、

1. 製品の温度管理費用を90%以上削減！
2. 人が目視した温度データを手入力する時間をゼロに！

生活者の安心・安全

将来的に、食品から医薬品まで適応範囲を拡大させ、タンパク製剤や血液などの品質を保証し、安心・安全を提供する！

